

令和7年度 学校評価シート（あきた型）
「秋田西高等学校」

①

評価領域	進路指導部
------	-------

目標の設定（Plan）

② 重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 各教科・学年と連携して生徒の進路意識を高めながら、学力の向上を図る。 生徒一人ひとりが高い志をもち、進路目標の実現ができるように支援体制の再構築を図る。
③ 現 状	<ul style="list-style-type: none"> 様々な進路活動や支援を行っているが、そのために何をすべきか理解しても実践できない生徒が多い。 進路実現への意識が低い生徒がいる。
④ 具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 進路意識を高め、学習習慣の定着と基礎学力の向上を図る。
⑤ 目標達成のための方策	<ul style="list-style-type: none"> 授業、朝学習、補習などを通して学習習慣の定着と基礎学力の向上を図る。 保護者との連携を密にし、生徒理解に努め、進路実現に繋げる。 生徒の実情を踏まえ、進路活動の充実を図り、進路意識を高める。

実践（Do）

⑥ 具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 進路講演会や大学訪問など多くの進路行事を実施することができた。
⑦ 達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 全体として進路への関心は高まっているものの、自発的に行動する生徒とそうでない生徒の意識の二極化が顕著になっている。

自己評価（Check）

評価基準	<p>A：具体的な活動が示され目標を達成できた。 B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない。 C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない。</p>
------	--

⑧ 自己評価	評価	根 拠
	B	生徒の自主性に期待しすぎていた面があり、動機付けが不十分だった。学習する意義を明確化し、対話の強化を図り、自分の将来のために動く姿勢を身に付けさせたい。
⑨ 学校関係者評価と意見	評価	意 見
	B	生徒が自発的に行動できない要因を探り、生徒にとって必要な情報提供や対話を大切にしていただけたらと思う。

改善した実践（Action）

⑩ 自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	<ul style="list-style-type: none"> 面談や対話を通して生徒理解に努め、成長の段階に合った取り組みを通して、進路意識を高めたい。また、個々の状況に寄り添った支援を継続していきたい。
-------------------------	---